

【石清水八幡宮 護国寺 関係年表】

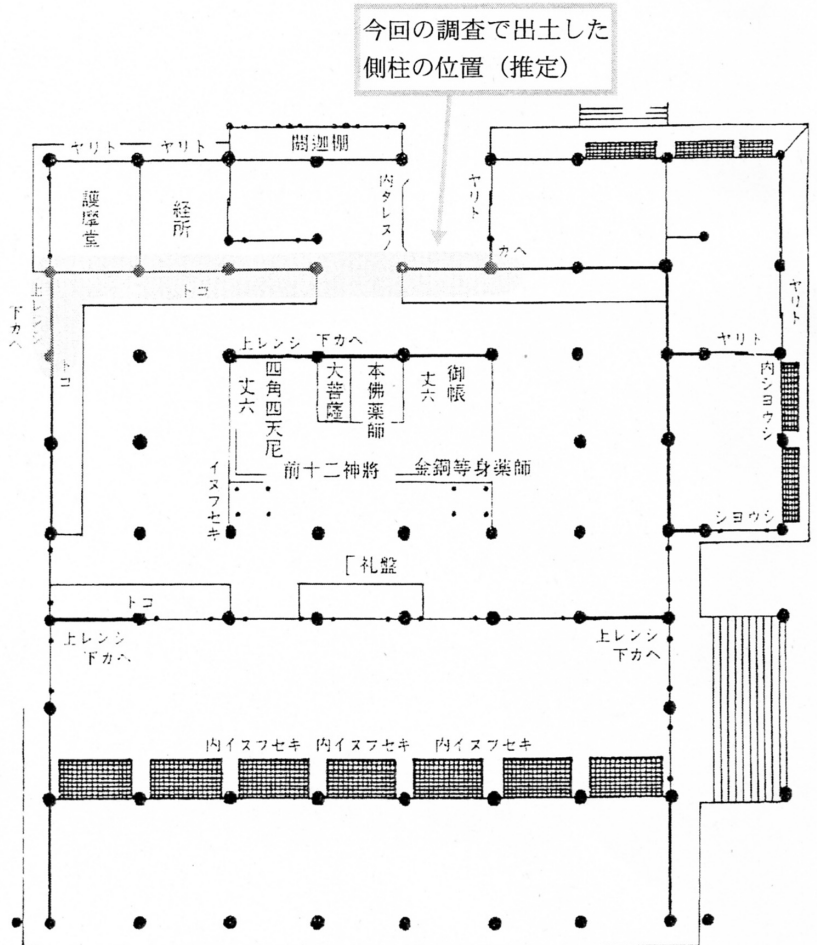
年号	西暦	事象	典拠
貞観4年	862	太政官符下り石清水を改め護国寺と号す	石清水八幡宮末社記
貞観18年	876	石清水八幡宮護国寺が神官を置くことを朝廷に願い出る	日本三代実録
康和5年	1103	大江匡房、十二神将を造立・寄進する	八幡宮寺縁事抄
延久元年	1069	釈迦・薬師の二像を安置する	石清水八幡宮末社記
文治4年	1188	後白河法皇が御幸する	石清水八幡宮末社記
嘉暦元年9月	1326	在家火事の飛火により焼失	石清水八幡宮寺堂塔建立次第、公卿補任ほか
同12月	1326	棟上げ（再建）	石清水八幡宮寺堂塔建立次第
建武元年	1334	後醍醐天皇護国寺にて供養	東寺長者補任、護国寺供養記
明応3年	1494	北谷藤坊から失火の類焼で焼失	石清水八幡宮寺堂塔建立次第
延宝7年	1679	仮御堂が建てられる	男山考古録、石清水八幡宮寺堂塔建立次第
文化13年	1816	再興	男山考古録
明治初年		破却	明治維新神仏分離史料



石清水八幡宮社頭図 [貞和2年(1346)]
 (『石清水八幡宮史』第一輯 巻頭図版)
 ※嘉暦再建後の中世の護国寺を描いた図



慶応2年(1866)【長浜家絵図・八幡市教育委員会蔵】



「石清水八幡宮御指図」※鎌倉時代の護国寺を描いた指図
 (田中君於氏 石清水歴史探訪選『石清水八幡宮堂塔④』講演資料より転載)